

旬をとじこめ 届けるおいしさ



讃岐罐詰株式会社 秋田工場

〒015-0854 秋田県由利本荘市上大野123
TEL.0184-22-8256 FAX.0184-24-3436 <http://www.sanukikanzume.co.jp/>

東北産のフルーツを中心に
季節に応じて様々な缶詰を製造



地域に根ざす老舗の“缶詰工場”

讃岐罐詰株式会社はその名の通り、香川県に本社を持つ老舗の缶詰工場であり、秋田工場は1973年に設立された。

「秋田へ来たのは、当時、本社の主力商品であったマッシュルームの栽培に力を入れていた本荘市から誘致企業として認定されたことがきっかけでした。その後、時代の流れと共に主力商品は、りんごや桃などのフルーツへと変化していきまし」と語るのは秋田工場統括の高橋英夫部長。

痛みに弱くデリケートなフルーツは自動化設備に頼れないため、手作業による高い加工能力が求められる。熟し加減によって良いものだけを選別し、作られた缶詰は「一度食べたらその美味しさがわかる」とお客さまからも評判が高い。

フルーツ以外にも様々な加工を行っており、敷地内には、利用者が持参した食材を「マイ缶詰」にして持ち帰ることができる加工所もあるなど、多い時は1日200人が利用することもあるという。近隣小学校の職場見学では、定番の先にもなり、今やすっかり地元で愛される工場だ。

秋田の食材で新商品開発へ

工場扱う食材の大多数が隣県や国産のものであるが、実は、現在の商品ラインナップに秋田産食材を扱ったものはない。この状況を憂いた高橋部長らは、自主的に地元食材での商品開発に挑んできた。その過程で、センターの存在を知り、専門家派遣やワンストップ移動相談といった事業を利用することでその道は少しずつ開けてきている。

「売るためのアイデアや世の中の動き、販路拡大に向けた手法など、ほとんど知らなかったので助かりました。去年は初めてセンターの紹介で県内の商談会に参加しましたが、他社がどんなことをやっているのか、どんなディスプレイだと商品が魅力的に見えるのかなど、知らなかったことを知ることができ、大変勉強になりました」。

設立当時のように秋田の食材を使った商品を売り出したいという想いを胸に、地元に基づいた企業としての挑戦は続いていく。



活用事例

移動相談所の開設

遠方の事業者の相談にも対応するため、県内7地域(鹿角市、北秋田市、能代市、由利本荘市、大仙市、横手市、湯沢市)での移動相談所を定期的に開設します。

お問い合わせ 総合相談課 TEL.018-860-5610